

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成27年度）

（平成28年3月末現在）

No	事業名	和泉市 担当	桃山学院大学 担当	連携事業の結果	事業効果・成果
1	ふれあいニュースポーツ教室	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 スポーツオフィス	桃山学院大学のサブアリーナを会場として毎月1回種目を変えながらニュースポーツ教室を実施。 ニュースポーツ種目: キンボール・ピロポロ・公式ワナゲ・クロリティ・ソフトラクロス・ラダーゲッター・ディスクボードなど	ニュースポーツを市民に普及・振興させることができた。
2	信太山クロスカントリー大会 I N 大阪 和泉	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	全国各地の参加者（前回大会の出場者含む）に対し、大学の広報活動として大会要項、ポスター、冊子に大学名、広告を掲載し、大阪府下を中心に全国各地のスポーツ施設に設置、掲示を行った。 第63回目を迎える信太山クロスカントリー大会 IN 大阪和泉の大会受付等に一般ボランティア（7名）、走行中のランナーの安全を確保するべく陸上競技部のランナーボランティア（14名）を学生支援課ボランティア活動支援室を通じて協力いただいた。	大会運営を円滑に進行させることができ、参加ランナーの安全を確保できた。
3	和泉市スポーツイベントへのボランティア 協力	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	11月に開催した第3回I ZUMIキッズスポーツフェスティバルへのボランティア協力については、大学のテスト期間と重なったこともあり事業協力の機会を逸した。	今年度連携なし
4	コミュニティ・ビジネス創出事業	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部	地場産業である人造真珠・ガラスを活用し、新たな価値を創出するため、商品企画・開発・マーケティングについての授業に対し、日本人造真珠硝子細貨工業組合にもご協力し、授業にて地場産業についての説明等を行った。 また、通年をとおして、組合との調整を行った。	学生の地場産業及び商業に関する知識を得るとともに、組合としても若者の意見をきくことで、事業への参考となった。
5	出前講座	生きがい健康部 福祉総務課	H26年度実績としては、経済学部、経営学部、法学部で、H27年度以降は全学部対象に実施していきたい。	桃山学院大学で行われる消費者啓発講座の実施のため、消費生活相談員を講師として派遣した。 【平成27年度取組み実績】 ・第1回目 平成27年10月30日（金）11:00～ テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 社会学部学生 140名 ・第2回目 平成27年10月30日（金）15:00～ テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 社会学部 ゼミ生 15名 ・第3回目 平成27年12月17日（木）9:20～ テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 法学部学生 100名	若者が陥りやすい消費者被害の防止と消費者問題に関する知識の習得
6	選挙事務従事者登録制度	選挙管理委員会 事務局	学生支援課	事業の説明と関係資料の配付を行った。	最終目標（名簿登録）まで達していない。なお、大学のスケジュールとしては新入生も加わる4月以降に周知を行う予定であり、面談を通じて登録する方向で検討していく考えであった。
7	ブルーミントン市交換学生受け入れ事業	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	国際センター	和泉市の友好姉妹都市交流事業の一環として、米国ブルーミントン市からの交換学生の受け入れ時に大学を訪問し、学生と交流した。 【和泉市・和泉市国際交流協会共催】	学内ツアーや茶道体験を通じ、相互交流を図ることができた。
8	和泉市英語スキットコンテスト	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	外国語教育センター	和泉市内中学生を対象に国際交流や国際理解、英語への興味を深めるために実施。外国語教育センターのマイケル・イワネ・サロバール外国語科目契約教員に、他の審査員2名と共に、参加者が演じる課題に基づく英語スキット（寸劇）を審査。8組24名の参加があった。課題は、教育委員会の外国語指導助手（ALT）が作成。 【和泉市・和泉市国際交流協会共催】	英語ネイティブの審査員に英語で講評をしていただき、参加者が生きた英語に触れることができた。
9	法職オリエンテーション	市長公室 人事課	法学部	桃山学院大学法学部1回生を対象に、学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに将来の就職先として、和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長自ら大学へ出向き、下記とおり講義を行った。 【開催場所】 桃山学院大学 聖トマス館1階T002教室 【講義時間】 15:00～16:30（1時間30分） 【参加者】 桃山学院大学法学部1回生 約100人 【講義内容】 ①和泉市の概要・和泉市に関するクイズ ②市役所の存在意義・役割 ③市役所で働くことの魅力 ④和泉市役所とは ⑤上京物語 ⑥人生の選択 ⑦大漁（金子みすず） ⑧質疑応答	市役所の仕事について理解してもらい、興味を持ってもらうことができた。 桃山学院大学の学生は、本市採用試験を受験する方が多く、採用の啓発にもなっている。
10	学外研修（地域連携教育活動）	生涯学習部 生涯学習課	教育支援課	留守家庭児童会運営における生活指導補助要員として募集し、5月、7月に各4名計8名が希望された。今回緑ヶ丘小学校仲よしクラブといぶき野小学校仲よしクラブ、北池田小学校仲よしクラブ及び和気小学校仲よしクラブ、青葉はつが野小学校仲よしクラブにおいて、支援員の業務である児童の保育補助を行った。	留守家庭児童会を運営するうえで、一般募集しても申込が少ない中、補助要員として来てもらえることが、本課としても成果となる。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成27年度）

（平成28年3月末現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
11	C S Wへのスーパーバイズ	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	社会学部 松端教授に年4回、次のとおりスーパーバイズを行った。 【1回目】 平成27年7月13日 （テーマ）①ホームページの改良について、②各種団体等へのプレゼンテーションで使用する資料について、③居場所づくりプロジェクト（ケース、イベント）について、④空き店舗の活用（幸校区）について、⑤ケース分類シートについて 【2回目】 平成27年9月17日 （テーマ）①ケース分類シートについて、②居場所づくりプロジェクト（ケース）について、③空き店舗の活用（幸校区）について、④サードプレイスについて 【3回目】 平成27年12月14日 （テーマ）①アセスメントスコアシートについて、②居場所づくりプロジェクトについて、③サードプレイスについて 【4回目】 平成27年2月8日 （テーマ）①ホームページの改良、用語集について、②居場所づくりプロジェクト（ケース）について、③サードプレイスについて、④相談シートについて、⑤活動報告書について	C S Wの活動の可視化、方向性の確認、新たな取組などについて専門的なアドバイスをいただきスキルアップを図った。
12	社会的居場所づくりプロジェクト	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	社会的に孤立している人（ひきこもり等）の交流の場を、社会学部 松端教授の専門的なアドバイスと学生のフレッシュな意見を活かし、C S Wと協働して、社会資源の活用、連携の仕組みづくりを一緒に行い、最終的には、社会的に孤立している人の就労や生活状況の改善などにつながるよう働きかけた。 【平成27年度取組み実績】 ・前年度からの継続ケース3件と新規ケース2件に対し、社会とのつながりを持ってもらうために、平成27年8月と12月にイベントを開催し、ロードインいずみサードプレイスでの野菜販売等への参加を支援した。	・支援の結果、1件が就労へつながった。 ・大学生との継続した関わりから社会とのつながりを持つきっかけとなった。
13	C S W福祉でまちづくりプロジェクト	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	市営住宅の空き店舗を有効活用し、専門的なアドバイスをいただき、地域住民、学校、学生、C S Wと協働して、人を育て、文化を伝承し、地域で支えあえる関係づくり、仕組みづくりを行った。 【平成27年度取組み実績】 ・平成27年7月30日から平成27年8月6日に地域住民主体で幸校区の空き店舗を利用して開催された「小学生真珠フリーデザインコンテスト」の開催を支援した。	地域住民が主体となり、幸小学校区の小学生を参加対象に各日共30名近い小学生の参加があり、地域の活性化につながった。
14	いずみの国歴史館 特別展	生涯学習部 文化財振興課	学院史料室 国際教養学部	【春季特別展】 2015年4月1日、桃山学院大学の和泉キャンパス移転および和泉中央駅開業、和泉中央（トリヴェール和泉）の本格街びらきからちょうど20年の節目を迎えるのを記念し、春季特別展「和泉中央と桃山学院大学の20年 1995-2015」を開催した。 桃山学院大学と共催し、泉北高速鉄道(株)の後援を得た。なお、ポスター、リーフレットなどの印刷費、オルガンの運搬費等を大学側に負担いただいた。 記念講演会 西口忠氏（桃山学院史料室）「桃山学院のあゆみと『マッサン』」 原山煌氏（国際教養学部教授）「百年前のお阪刷モノ語り」 オルガンコンサート（桃山学院史料室蔵・大正期のヤマハオルガン） 【夏季特別展】 戦後70年を記念した、夏季特別展「戦争と和泉」において、桃山学院史料室所蔵の戦争関係史料を借用した。また、経済学部島田ゼミが行った、南横山村軍人墓地の調査成果を報告していただいた。 歴史講座 島田克彦氏（経済学部准教授） 「大学生と考えた「村と戦争」-桃大・島田ゼミの取り組み-」 大橋康夫氏（島田ゼミ・元中学校教員） 「帰らなかった命-南横山軍人墓地から見える戦争-」	【春季特別展】 大学が所蔵する貴重な地域史料を展示でき、企画の充実につながった。また、会期中の入館者は、1861人を数えた。大学のゼミや授業での見学もあり、歴史館の入館者増につながった。 【夏季特別展】 島田ゼミの調査成果を市民に還元する機会となった。
15	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業  (学外研修 (地域連携教育活動))	学校教育部 指導室	教育支援課	5月13日に桃山学院大学の方でガイダンスを実施し、大学生の希望や学校側の条件など、双方の調整や確認を行った。その後、学生が和泉市内の幼稚園や小中学校において、様々な教育活動の補助にあたった。今年度は19名の学生の参加があり、学生は当該活動が学外研修として単位認定される。	・休み時間等、子どもたちと多く関わってもらうことで、子どもたちに楽しみや安心感を与えることができ、充実した学校生活へとつながった。 ・学習の準備に時間がかかる子どもに根気よく対応してもらうことで、子どもの学習意欲を高めることができた。 ・一人ひとりに応じた支援が求められている学校現場において、加配教員の少ない現状からすると、学生サポートの存在は大きな力となっている。 ・幼稚園では、教職員数が少ないので、学生ボランティアが保育準備を担当してくれることで、幼稚園として、準備にかかる時間が短縮され、教員がその時間を有効に活用することができる。 ・学生にとっても、自分の活動が、将来の中で役立つことにつながっているため、活動にやりがいを感じながら単位を取得することができる。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成27年度）

（平成28年3月末現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
16	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (和泉市中学生生徒会サミット)	学校教育部 指導室	教育支援課	「和泉市中学生生徒会サミット」桃山学院大学との連携 担当部署：桃山学院大学 教職課程課  平成27年度は、中学生による「中学生は、どのように携帯電話とつきあうか」をテーマとした自由討論会等を実施。 日時 平成27年8月27日（木） 13:00 ～ 16:30 場所 桃山学院大学 ヨハネホール 内容 各中学校の生徒会活動における課題に関するグループ討議 (教職課程在籍の大学生との意見交流) 「中学生は、どのように携帯電話とつきあうか」についての自由討議	今年度で、6回目を迎え、生徒会役員にとっての活動の場となっている。また、当日は大学生も含め意見交流を行い、考えを深める機会となっている。また、今回は、携帯電話の使い方についてのスローガンを作成し、各学校での啓発活動につなげることができた。
17	和泉ゼミ設立検討事業	市長公室 いずみアピール課	社会学部	地域ビジネス論における地域ビジネスの一つとして市の事業内容（和泉シティプロモーション事業）と、市域全体の活性化策について市長の講義をおこなった。	100名前後のゼミ生に講義を受けていただき、市の施策への理解を深めることができた。また、市域全体で市のプロモーターとして活動していくには、市内拠点の大学の在校生も、そのプロモーターとなっていただく必要があることから、市の魅力の周知と、プロモーターの育成としての効果もあった。
18	(仮称) 思いつき部隊の設立	市長公室 いずみアピール課	社会学部	桃山学院大学を含んだ各種企業、団体を組織する和泉シティプロモーション推進協議会を立ち上げ、シティプロモーション事業に関する検討を行った。	和泉シティプロモーション推進協議会の中で、行うことにより、幅広い意見を聞くことができた。
19	和泉ボランティア・市民活動センター「アイあいロビー」との連携事業	市長公室 公民協働推進室 公民協働推進担当	学生支援課 ボランティア活動支援室	社会ニーズの変化や多様化に伴い、幅広い世代の市民活動が求められるなか、当センターでは、現在、いかにして幅広い世代の市民にご利用いただくか、またボランティアアドバイザーの高齢化への対応が課題となっている。 そこで、それらの課題に対する取組みとして桃山学院大学と連携し、幅広い世代の参加・参画を促進するための事業を行うこととした。 平成27年度は「子育て世代応援講座」として、桃山学院大学生による年4回の定期講座を、下記のとおり実施した。 ○開催日：平成27年4月25日（土） 午前10時00分から午前11時30分 内容：スライム、プラ板作り、アイスブレイク(ゲーム遊び) 大学生：15名・専門部会：7名（ボランティア）、参加者：市内親子24名が参加 ○開催日：平成27年6月13日（土） 午前10時00分から午前11時30分 内容：スライム、プラ板作り、縁日遊び(魚釣り) 大学生：30名・専門部会：7名（ボランティア）、参加者：市内親子24名が参加 ○開催日：平成27年10月10日（土） 午前10時00分から午前11時30分 内容：スライム、プラ板作り、バルーンでアンパンマン作り 大学生：16名・専門部会：7名（ボランティア）、参加者：市内親子19名が参加 ○開催日：平成27年12月12日（土） 午前10時00分から午前11時30分 内容：スライム、プラ板作り、折り紙でサンタとツリー作り 大学生：20名・専門部会：7名（ボランティア）、参加者：市内親子24名が参加	桃山学院大学と連携し、学生と専門部会との協働で実施した「ももやまキッズランド」を通じて、当センターをご利用いただいたことがなかった市民の利用につながり、当センターの活性化が図られた。また、今まで当センターを知らなかった学生に対し、センターの存在はもちろんのこと、目的や事業について知っていただくきっかけとなった。このことで幅広い世代の市民にとってボランティアに参加しやすい環境づくりが図られ、また学生にとってもひとつの事業を自らが企画から実施に至る全てのプロセスに携われたことが貴重な体験となったと伺っている。 今後も、学生がどのように「アイ・あいロビー」に関わっていただくことができるのかなど、新たな仕組みづくりを念頭に入れた協議を継続していくことで、学生、大学及び当センターの3者すべてにとって有意義な取り組みとしていきたいと考えている。
20	MOMOYAMAイクステンション・カレッジ	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	学長室 地域連携室イクステンションセンター	「和泉の魅力を再発見～伝説から伝統工芸まで～」をテーマとした社会人向け講座の調整・実施。 ・11/5 市長講座「NO1のまちづくりをめざして」 ・11/19 市史編さん事業の特徴と信太編 ・11/26 戦後70年・和泉市内の戦争遺跡 ・12/3 いずもく・笑働の森について 和泉の木（いずもく）でお箸作り ・12/10 伝統の技を習ってみませんか？ <硝子バーナーワーク体験> ・12/17 人造真珠でアクセサリーを作ろう	延べ参加数120名
21	防犯ボランティア「桃バト」	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	学生支援課	平成27年10月6日（火） 防犯マップづくり（緑ヶ丘小学校） 平成28年2月4日（木） 今後の活動方針に関する会議（桃山学院大学） 市との協働事業は以上。 その他、桃バトについては、 平成27年4月11日（土） 防犯キャンペーン（府立体育会館） *府警本部と協働 平成27年8月8日（土） 防犯キャンペーン（長居公園） *府警本部と協働 平成27年10月16日（金） 交通事故防止キャンペーン *和泉警察署と協働 平成28年1月16日（土） 全国学生安全・安心ボランティアサミット北九州（北九州国際会議場） 17日（日） " *府警本部と協働 平成28年2月17日（水） 大阪学生安全・安心ボランティア交流会2016（摂南大） *府警本部と協働 など、主に警察等と協働事業を実施。 他にも地元のいずみ緑ヶ丘自治会と合同で緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動（週2～3回）や同自治会の夏祭り、防災訓練にも参加。	ボランティア活動が活性化し、地域の安全・安心感の醸成に寄与。
22	フラッグフットボール指導	学校教育部 指導室	学生支援課	今年度2回実施 平成28年2月17日（水） 緑ヶ丘小学校5年生 144名 5・6時間目 @小学校グラウンド 平成28年2月22日（月） 緑ヶ丘小学校5年生 144名 2・3時間目@本学	児童が大学生とふれあう中で、スポーツを通しての体力向上と異年齢の交流を深めることができた。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成27年度）

（平成28年3月末現在）

No	事業名	和泉市 担当	桃山学院大学 担当	連携事業の結果	事業効果・成果
23	公共サービスのイノベーション人材育成	環境産業部 市民室 出張所担当	経営学部	学生が、窓口で出張所での一連のサービスを受け、学生の視点からサービスプロセス（トランザクション分析）を行った。この調査で得た結果を基に課題管理表を作成し、より具体的にサービスを改善出来るよう話し合いの場を設けた（1回/月）。結果、発券機による順番取りや順路の指示が分かりにくいと考え、出張所内の美観を確保した上で、来庁者がスムーズにサービスを受けられる様フロア内に案内板（順路方法を地図に作成し表示）を設置した。	案内板設置することでフロア全体の順路が分かり、来庁者も迷うことなくスムーズに公共のサービスを受けることが出来た。
24	消費者啓発の事業	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	年輪大学講座受講生を対象とし、同講座を社会学部松端ゼミと連携して実施。学生はゼミ活動の一環として、講師側の立場（寸劇での実演等）で参加した。  【平成27年度取組み実績】 ・第1回目 平成28年3月2日（水）13:30～ テーマ「年輪大学講座（暮らしの中の悪質商法）」 参加者 社会学部 ゼミ生 5名 ・第2回目 平成28年3月9日（水）13:30～ テーマ「年輪大学講座（暮らしの中の悪質商法）」 参加者 社会学部 ゼミ生 5名	・ゼミ活動による学生の参加体験・発表を通じた消費者市民社会の担い手として主体的な判断のできる自立した消費者の育成 ・講座受講者に対する消費者被害を未然に防ぐための啓発
25	地域ビジネス実践	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部	地場産業である人造真珠・ガラスを活用し、企画・商品開発・マーケティング分析、仕入れ、販売等についての授業に対し、日本人造真珠硝子細貨工業組合にもご協力いただき、授業でのアドバイザーとしての参加や市イベントにてブース出店の調整をおこなった。	学生にとっては、実践的に経営ノウハウを取得することができた。
26	生涯学習大学開校に向けた準備委員会の発足	生涯学習部 生涯学習課	学長室	「(仮称)生涯学習大学設置に係るワーキンググループ会議」と題し、2回の会議を開催し、実際の講義内容を調整するにあたり、桃山学院大学と本市との連携方法について意見のすり合わせを行った。 いずみ市民大学のまちづくり学部に、5人の教員が桃山学院大学連携講義に協力。シティプラザでのインストラクション（事前講義）を経て、桃山学院大学の学生と共にフィールドワーク（学外授業）を行っていただくこととなった。併せて、教養学部（旧シティプラザ市民カレッジ）にも、従来同様、前期3講座、後期3講座の開講にも協力いただいている。	学生と市民が座学のみならず、学外研修で共に学ぶことで、世代間交流を通じて和泉市のまちづくりにハイブリッドな関係を構築し、知識や考え方の違いに気付くことで、新たなコミュニティやネットワークを生み出すきっかけとなることが期待できる。
27	桃山祭 地域連携ブース出張展示	生涯学習部 文化財振興課	学長室 学生支援課	桃山祭に、桃山学院史料室および泉大津市教育委員会と共同で、地域連携ブースを出展した。 いずみの国歴史館からは「いずみの国歴史館と桃山学院大学との連携事業」と題して、「和泉中央と桃山学院大学の20年」展を中心に、連携事業の成果をパネルで紹介した。 また、オープニングセレモニーには、コダイくんロマンちゃんが出演した。	桃山学院大学との連携事業や歴史館の取り組みを大学内でPRする機会となった
28	文化財総合冊子中国語版の作成	生涯学習部 文化財振興課	学長室 国際センター	和泉市文化財活性化推進実行委員会（事務局：文化財振興課）の事業（国庫補助事業）として、和泉市内の文化財を紹介する総合冊子『和泉市の歴史と文化財』中国語版を作成するにあたり、桃山学院大学国際センターに中国語訳を依頼した。	中国人留学生や中国語を学ぶ日本人学生、さらに中国語担当教員らの協力をえて、翻訳作業をすすめることができた。
29	通訳ボランティア研修	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	学習支援センター	和泉市国際交流協会登録の通訳ボランティアのスキルアップを目的とした研修。災害発生時、外国人目線からどのような支援が必要とされているのかを知り、ロールプレイングを通じて実践的なサポートの方法や通訳スキルについて学んだ。 【和泉市・和泉市国際交流協会共催】	外国人講師から実情を学ぶことで、災害発生時の行動方法を身に付けることができた。
30	シンポジウム事業	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部	学生による「ららぽーと和泉」開業後の消費者行動の変化についての調査発表と和泉市による「和泉市産業振興プラザの経済波及効果」の発表、並びに「和泉市の現状と未来」についてのシンポジウムの開催。 ららぽーと和泉におけるアンケート調査の調整やシンポジウムの調整を行った。 ＜パネリスト＞ ・和泉市長 ・和泉商工会議所 専務理事 ・大阪府立南大阪高等職業技術専門学校 校長 ・学生2名	シンポジウム参加者数約90名
31	課題解決プランコンテスト 商店街サポーター創出・活動支援事業	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	社会学部 学長室	ロードインいずみ内の空き店舗を活用し、サードプレイス～シェア桃大～として商店街の活性化や子育て支援などを中心とした多様なプログラムを実施。2015年10月より本格的に稼働し、20以上の団体が日替わりで活動している。	本学学生、商店街、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、地域の各種団体及び和泉市など延べ26団体が協力し、「商店街の活性化」「地域のみんなで子育て支援」「商店街の利用者数の増加」を目的とし、日替わりで様々なプログラムやイベントを実施した。特に本学学生による学習支援においては、近隣小学校の3年生を中心に、毎週サードプレイスを訪れ、学生とコミュニケーションをとりながら宿題をするというスタイル（居場所）も生まれた。 今後、商店街全体の利用者数の増加や商店街との連携内容という点について、再度検討し継続して取り組む必要がある。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成27年度）

（平成28年3月末現在）

No	事業名	和泉市 担当	桃山学院大学 担当	連携事業の結果	事業効果・成果
32	和泉市主催イベントにおける消費者行動調査の実施	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部	和泉市主催の市民参加型イベントである、8月8日開催の「和泉市民プロサッカー観戦デー「セレッソ大阪×シエフユナイテッド千葉」（キンチョウスタジアム）、10月17日、18日開催の「第17回記念 和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク」の会場において、学生が市関係の様々なイベントにおいて、来場者やイベント参加者に対し、イベント運営における課題解決に繋がる内容等、市の希望する内容アンケート等を用いて調査し、報告を市担当部署へ行った。	アンケートデータを分析し、報告を和泉市に対しておこない、市の今後の宣伝戦略、企画内容の改善につなげた。 学生は、学生研究発表大会で、調査結果を発表することで、統計的手法による分析の学習やプレゼンテーション力の向上につながった。